

広島市における環境にやさしい 交通体系づくり



広島市 道路交通局 道路交通企画課
交通円滑化推進担当課長 立岩 薫

1 広島市のESTモデル事業



1.1 ESTモデル事業計画の策定経緯について

平成16年6月

「新たな交通ビジョン～ひと・環境にやさしく 活力ある広島の交通体系をめざして～」の策定
⇒ 交通体系の軸足を公共交通にシフト



平成17年7月

「交通ビジョン推進プログラム(2005-2007)」のとりまとめ
⇒ 平成17～19年度の整備プログラムと整備目標を明示



平成18年2月

「広島市環境行動モデル事業(EST)」の計画策定

1.2 ESTモデル事業の概要

テーマ： 広島における「ひと」・「環境」にやさしい交通体系づくり



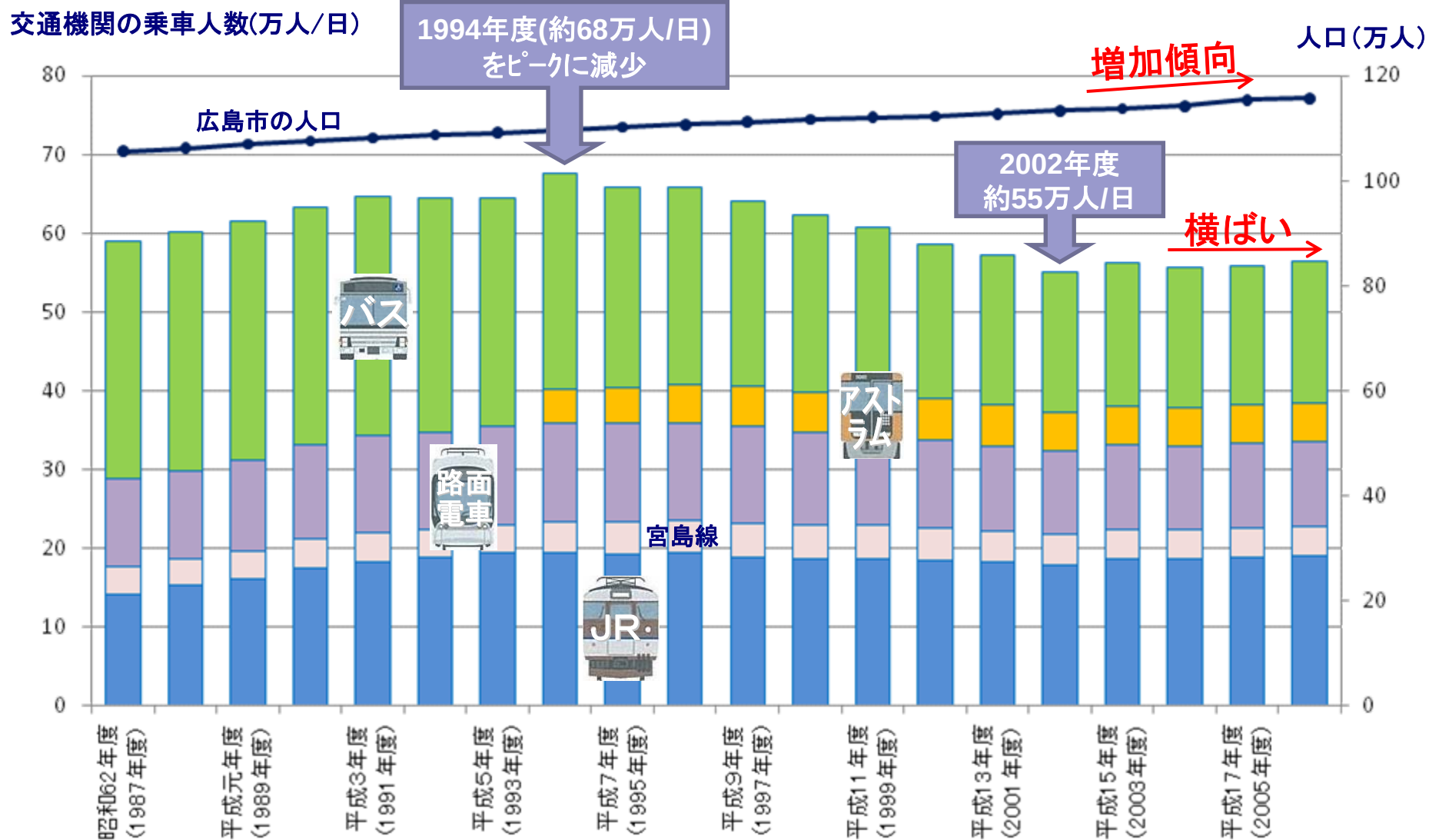
2 広島市の公共交通の現状



2.1 軌道系公共交通機関の現況



2.2 交通機関別乗車人員の推移(市内分)



3 主な事業の概要



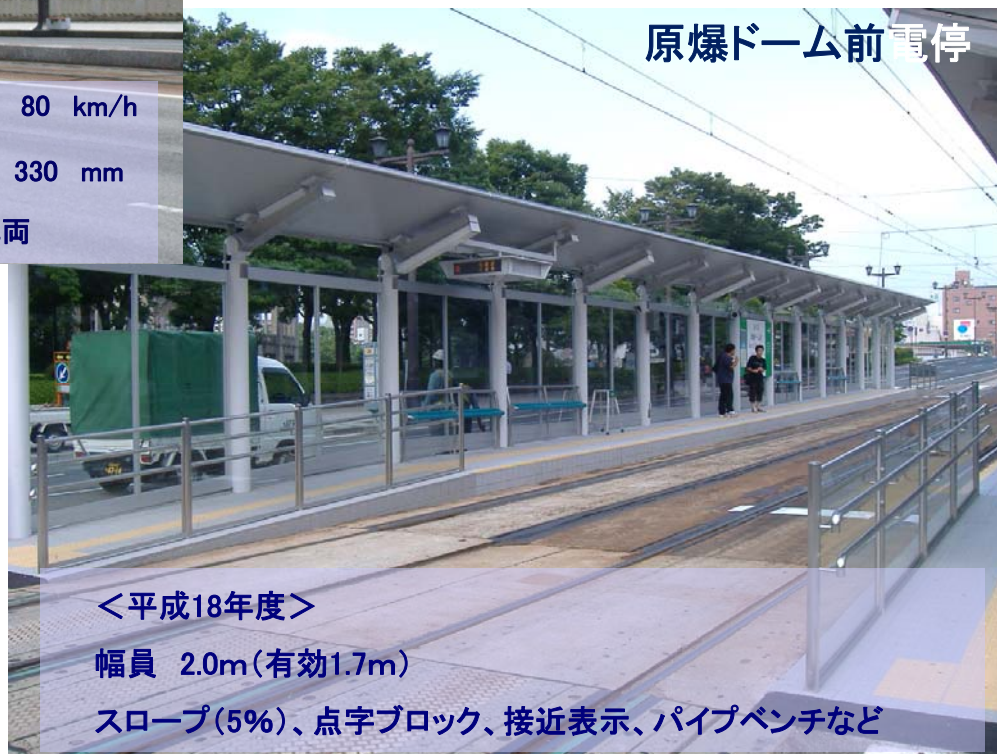
3.1 路面電車のLRT化 ～低床車両の導入、電停施設の改良～

グリーンムーバー・マックス



定員	149 人(座席定員 56 人)	設計最高速度	80 km/h
価格	3億 2 千万円	客室床面高さ	330 mm
国産初の独立車輪方式・フルフラット 100 %超低床車両			

原爆ドーム前電停



<平成18年度>

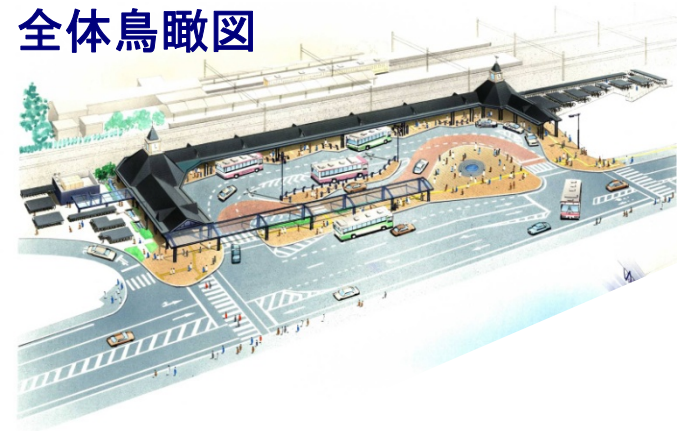
幅員 2.0m(有効1.7m)

スロープ(5%)、点字ブロック、接近表示、パイプベンチなど

3.2 交通結節点の改善 ～可部駅西口広場整備事業～



全体鳥瞰図



3.3 マイカー乗るまあいデー(ノーマイカーデー運動)の推進

(1) これまでの取組経緯

平成17年度	○ 9月22日(木)、23日(金・祝)をノーマイカーデーとして実施。
平成18年度	○ 名称を一般公募し、「マイカー乗るまあいデー」に決定。 ○ 毎月22日を「マイカー利用を控える日」と定め、7月から継続的な取組へ移行。 ○ 11月20日(月)～24日(金)の5日間を推進キャンペーンとして集中的な取組の実施。
平成19年度	○ 11月19日(月)～25日(日)の7日間を推進キャンペーンとして集中的な取組の実施。
平成20年度	○ 実施日をこれまでの月1回から、毎月2日、12日、22日の月3回に拡大。 ○ 個人や企業を対象として、クルマの利用を控えた取組報告がいつでもでき、その人の環境への貢献度が確認できる常設型WEBサイト「マイカー乗るまあいデーくらぶ」を7月に開設。

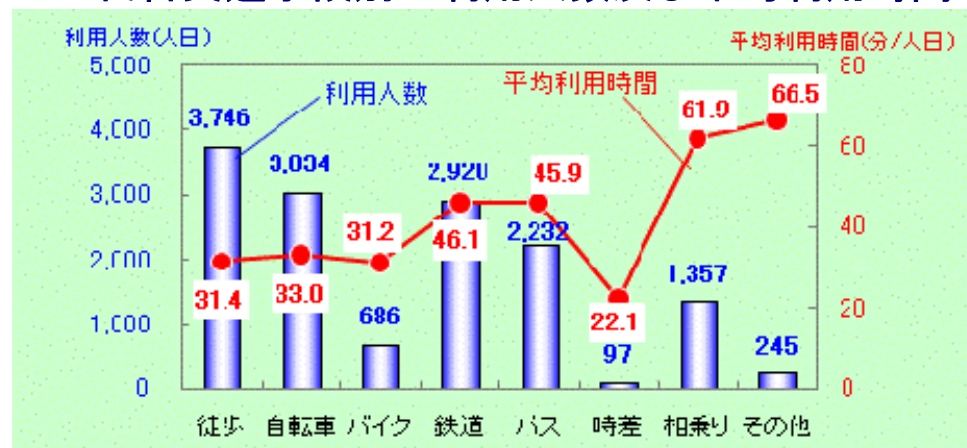
3.3 マイカー乗るまあデー(ノーマイカーデー運動)の推進

(2) 実施結果 ～H19年度～

■実践人数及び自動車利用抑制時間

モニター登録人数	4,407人
キャンペーン期間に環境にやさしい 交通行動を実践したのべ人数	10,727人
キャンペーン期間に自動車利用を 控えた総時間	9,758時間

■代替交通手段別の利用人数及び平均利用時間



約39トンのCO₂排出量を削減！

3.4 交通と環境学習の実施(平成19年度)

～環境省のESTモデル事業推進費を活用～

(1) 学習カリキュラムのコンセプト

交通と地球環境をテーマにした体験・実践型の学習を通じて、環境問題に関心を持ち、環境にやさしい行動がすすんでできるという態度を育てる

(2) 実施時期

平成19年11月～平成20年2月

(3) モデル校

広島市立五日市観音小学校 5年生(3クラス 109名)を対象

(4) 実施教科

総合的な学習の時間、道徳



(5)「交通と環境」学習カリキュラム

導 入

項 目

内 容

地球温暖化の現状としくみ

広島市の出前講座“地球温暖化について考えよう！”を実施



環境にやさしい新しいクルマ「水素自動車」って何？

マツダ(株)技術研究所から講師を迎え「水素自動車」のしくみや環境への効果を学習



課題の認識

環境にやさしい乗り物は？

電車・バスは、クルマよりも環境にやさしいことを学習

体験
・
実践

保護者等
への報告

項 目	内 容
電車の利用方法の学習	電車とバスの利用方法や乗車マナーを学習し、体験乗車の計画を立案
電車とバスの体験乗車 (校外学習)	電車とバス（CNGバス）の体験乗車を行い、地域にある公共交通機関が身近な乗り物であることを実感するとともに、電車やバスのしくみやマナーについて学習 
「交通すごろく」を使った授業	大阪大学大学院の松村准教授考案の「交通すごろく」ゲームを用いて、「社会的ジレンマ」の概念や「公共性」について学習 
リサイクル工作	広島環境サポーターネットワークの出前講座“廃牛乳パックをリサイクルしてフリスビー作り”
学習のまとめ(ポスター作成)	「交通と環境」学習で分かったこと、気づいたことを整理して、ポスターを作成しPTCの際に保護者に見てもらう。ショッピングセンターや公共施設などの校外施設にも掲示

4 今後の施策展開



4.1 今後の取組について ～公共交通～

公共交通

■ 共通ICカードの導入・普及（H19.1導入開始）

①特徴

広島都市圏の9つの交通事業者による共通ICカード
PASPY割引（最大10%）、定期券機能（H20年度予定）

②今後の予定

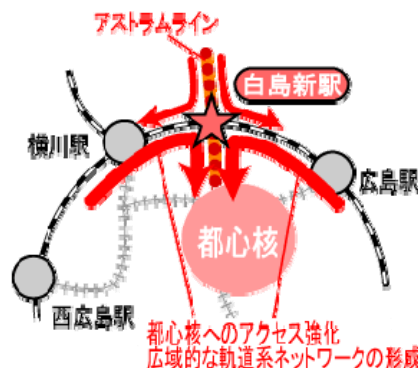
H20年度導入予定：路面電車

H21年度導入予定：アストラムライン、ロープウェー、船舶



■ 白島新駅の設置検討

都心アクセスの強化、広域的なネットワークの強化を図るため、JR山陽本線（東西交通）とアストラムライン（南北交通）を結節する白島新駅の設置を検討中

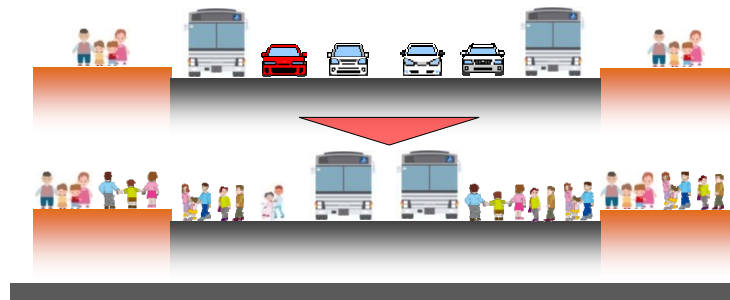


4.2 今後の取組について ～交通需要マネジメント～

交通需要マネジメント

■ トランジットモールの導入検討

市中心部のメインストリートなどで、一般車両の通行を制限し、歩行者や自転車、公共交通機関に開放するトランジットモールの導入に向けて検討を行う。



■ 環境にやさしい自動車専用レーンの導入検討

バス、軽自動車、2人以上乗車の車など環境にやさしい自動車が通行できる専用レーンの導入に向けて検討を行う。

公共交通機関



相乗り車
(2人以上乗
車の車)



など

4.3 今後の取組について ～道路～

道 路

■ 自転車都市ひろしまの推進

H18年度～

歩行者と自転車の視覚的分離の推進
全体計画延長:約25km(うち整備済約4km)

H20年度

自転車版交通センサスの実施
自転車利用の実態や利用者ニーズの把握

H21年度～

自転車利用環境整備計画の策定
自転車利用環境の整備



Thank you!

